

## 吉名の海の生き物PRプロジェクト ～吉名の海の生き物を調べて紹介しよう～

## 1 単元のデザイン

## 単元の目標

地域の海や干潟、そこに生息する生き物を調べ、調べたことや考えたことを伝える活動を通して、海や干潟に生息する生き物の希少性や多様性について理解し、海の環境や干潟を守るために自分ができることを考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

## 単元について

本単元の主な活動は、地域の海や干潟、そこに生息する生き物を調べ、調べたことや考えたことを紹介することである。

本単元の主な教材は「吉名町の海や干潟」と「そこに生息する生き物」である。干潟は、潮の満ち引きによって形成された平坦な砂泥地で、プランクトンや魚、貝等の多くの生物が生息している場所である。しかし、埋め立てや沿岸開発によって、多くの干潟が失われてきている。竹原市では「ハチの干潟」が有名だが、吉名町にも干潟があり、そこにはハクセンシオマネキやテッポウエビ、カブトガニ等の貴重な生き物が数多く生息している。カブトガニは「生きた化石」と呼ばれ、その希少性や学術的観点からシーラカンスに匹敵する動物であると言われている。しかし、近年、個体数の減少から絶滅危惧種に指定されている。吉名町の干潟では、このような貴重な生き物を直接見たり触ったりすることができる。また、干潟の多様な生き物を調べることを通して生物の関連性や生物多様性の重要性について学ぶことができる。

## SDGsの視点：14 海の豊かさを守ろう

本単元を通して干潟や海に生息する生き物の希少性や多様性の重要性に気づき、海の豊かさを守ろうと考え行動する姿が期待できる。

## 児童生徒の実態

本学級の児童は、吉名町にカブトガニがいるという新聞記事を読んだり、実際に干潟へ行って観察をしたりして、吉名町の干潟にカブトガニ等の生き物がいることは知っている。しかし、干潟やそこに生息する生き物の希少性や抱える問題については知らない。

ICT活用力については、児童はこれまでに様々な授業でICTを活用してプレゼンテーションのためのスライド資料の作成を何度も行っているため、プレゼンテーション資料の作成に関わる技能は概ね身に付いている。しかし、動画を作成・編集した経験はないため、その技能は身に付いていない。

プレゼンテーション力については、普段の授業の様子から自分の思いをそのまま伝えることができる児童は60%いる。しかし、目的意識や相手意識をもち、相手を説得するように論理立てて説明する児童は10%しかいない。

挑戦する力・やり遂げる力については、新たなことには挑戦しようという態度は身に付いているが、困難に直面すると諦めてしまう傾向の児童が40%いる。

## 指導の工夫

## (1) プロジェクト型学習

本気になる課題設定となるように、海や干潟でのフィールドワークといった心が動く体験活動や吉名町の海に関係する様々な人々へのインタビュー活動を設定する。

児童の思いや願いに基づく挑戦となるように、児童の「やってみたい」という思いに沿って単元を柔軟に変更し、教師がルールを敷かないようにする。

問題解決に際して、高い壁との出会いとなるように、専門家や地域で海や干潟に関わっている人々と連携する。その際、漁業関係者とカブトガニの保護活動を行っている方等、立場の違う方から考えを聞くことができるようにし、その解決に向けて試行錯誤する場面を設定する。

## (2) ICT活用

本単元では主に協働の場面でICTを活用する。具体的には、意見交流の際にJamboardを活用して話し合いを可視化したり、動画の作成・編集を行ったりする。

## (3) シンキングツールの活用

本単元では、主に以下の三つのシンキングツールを活用する。

- ① イメージマップ …… 吉名町の海や干潟に関する情報や考えを広げたり、分類したりする。
- ② ベン図 …… 違う立場の方からの意見を比較し、共通点と相違点を明確にする。
- ③ PMI …… 三つの視点から活動を振り返る。

## 2 単元の評価規準及びルーブリック



評価の観点		S (期待以上)	A (十分満足できる)	B (概ね満足できる)	C (努力を要する)
(1) 知識・技能	ア 知識	干潟に生息する生き物の希少性や多様性及び生物同士のつながり、生物多様性の観点から見た干潟の重要性について理解している。干潟の生き物に関する知識の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	干潟に生息する生き物の希少性や多様性、生物多様性の観点から見た干潟の重要性について理解している。干潟の生き物に関する知識の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	干潟に生息する生き物の希少性や多様性について理解している。干潟の生き物に関する知識の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	干潟に生息する生き物の希少性や多様性について理解していない。干潟の生き物に関する知識の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いていない。
	イ 技能	自分が撮影した映像等を基に、動画編集ソフトを用いて、自分の伝えたいことが明確になるような工夫を取り入れて 30 秒～3 分程度の動画 (CM・番組等) 制作することができる。	自分が撮影した映像等を基に、動画編集ソフトを用いて、テロップやBGM等を入れて 30 秒～3 分程度の動画 (CM・番組等) 制作することができる。	自分が撮影した映像等を基に、動画編集ソフトを用いて、30 秒～3 分程度の動画 (CM・番組等) を制作することができる。	動画編集ソフトを用いて、動画を制作することができない。
(2) 思考・判断・表現	ウ 課題を発見する力 企画する力	体験活動やインタビュー、資料の分析で得た情報、自分たちの興味・関心や地域の方の思い・願い、社会的な広い視野から課題を設定し、課題解決に向けて様々なアイデアを出すことができる。	体験活動やインタビュー、資料の分析で得た情報、自分たちの興味・関心や地域の方の思い・願いを基に課題を設定し、課題解決に向けて様々なアイデアを出すことができる。	体験活動やインタビューで得た情報、自分たちの興味・関心や地域の方の思い・願いを基に課題を設定し、課題解決に向けて様々なアイデアを出すことができる。	体験活動やインタビューで得た情報、自分たちの興味・関心や地域の方の思い・願いを基に課題を設定することができない。また、課題解決に向けて様々なアイデアを出すことができない。
	エ 活動を計画・推進する力	課題解決に向けて、自分たちに必要な情報や準備物、解決方法や手順等の計画を立て、見通しをもって自発的・計画的に活動を進めている。	課題解決に向けて、自分たちに必要な情報や準備物、解決方法や手順等の計画を立て、見通しをもって計画的に活動を進めている。	課題解決に向けて、教師や地域の方等からの助言を参考に必要な情報や準備物、解決方法や手順等の計画を立て、見通しをもって計画的に活動を進めている。	教師や地域の方等の助言を受けても計画を立てられない。また、見通しをもって計画的に活動を進められない。
	オ 情報を収集する力	目的に応じて適切な情報収集の方法を選択するとともに、事前に考えた質問項目だけでなく、別の観点で観察したり、相手の反応を見ながら臨機応変に追加の質問をしたりして、より詳しい情報を収集している。さらに、情報の発信元や真偽を確かめながら、図書資料やインターネットを使って、必要な情報を収集している。	目的に応じて適切な情報収集の方法を選択するとともに、事前に考えた質問項目だけでなく、別の観点で観察したり、相手の反応を見ながら臨機応変に追加の質問をしたりして、より詳しい情報を収集している。また、図書資料やインターネットを使って、必要な情報を収集している。	事前に考えた質問項目だけでなく、別の観点で観察したり、相手の反応を見ながら臨機応変に追加の質問をしたりして、より詳しい情報を収集している。また、図書資料やインターネットを使って、必要な情報を収集している。	事前に考えた質問項目だけでなく、別の観点で観察したり、相手の反応を見ながら臨機応変に追加の質問をしたりして、より詳しい情報を収集することができない。
	カ 整理・分析する力	様々な情報を、内容や目的と照らし合わせて最も効果的な方法を選択し、それを用いて比較・分類したり、関係付けたり、多面的・多角的に分析したりして、特徴等を見付けている。	様々な情報を、比較・分類したり、関係付けたり、多面的・多角的に分析したりして、特徴等を見付けている。	様々な情報を、比較・分類したり、関係付けたりして、特徴等を見付けている。	様々な情報を、比較・分類したりできない。また、特徴等を見付けられない。
	キ 表現する力	他者の共感を得ることができるように、これまでに学習したことを生かして、構成を工夫して、台詞の言い方や動き、BGM等を工夫しながら劇を演じたり動画を作成したりしている。	これまでに学習したことを生かして、構成を工夫して、台詞の言い方や動き、BGM等を工夫しながら劇を演じたり動画を作成したりしている。	起承転結を意識して、台詞の言い方や動き、BGM等を工夫しながら劇を演じたり動画を作成したりしている。	構成や演技を工夫していない。
	ク 発想する力 工夫する力	社会の状況や観る人の傾向を捉え、劇や動画の全体構成や言葉等、よりよく伝えるための方法を考え、自分なりに工夫している。	観る人の傾向を捉え、劇や動画の全体構成や言葉等、よりよく伝えるための方法を考え、自分なりに工夫している。	劇や動画の全体構成や言葉等、よりよく伝えるための方法を考え、自分なりに工夫している。	自分なりの工夫をしていない。
	ケ 評価する力	自分たちが作った制作物を見直し、よい点や改善点等を考えて伝える。 自己評価と他者評価を基に、その都度改善している。	自分たちが作った制作物を見直し、よい点や改善点等を考えて伝える。 自己評価や他者評価を基に改善している。	自分たちが作った制作物を見直し、よい点や改善点等を考えて伝える。 他者評価を基に改善している。	自分たちが作った制作物を見直し、よい点や改善点等を見付けられない。他者の評価を受けても、改善していない。
	(3) 主体的に学習に取り組む態度	コ 挑戦する力 やり遂げる力 (主体性)	課題の解決に向けて、実社会の場でも進んで挑戦し、失敗や困難に出合ってもその場で臨機応変に対応したり改善を図って再挑戦したりして、最後までやり切ろうとしている。	課題の解決に向けて、実社会の場でも進んで挑戦し、失敗や困難に出合っても改善を図って再挑戦し、最後までやり切ろうとしている。	課題の解決に向けて、進んで挑戦し、失敗や困難に出合っても改善を図って再挑戦し、最後までやり切ろうとしている。
サ 協働する力 (協調性)		課題解決に向けて、多様な意見を出し合いながら議論を行い、合意形成を図るとともに、自他のよさを生かしながら協力して活動を進めようとしている。	課題解決に向けて、多様な意見を出し合いながら議論を行い、合意形成を図るとともに、自分のよさをいかにしながら協力して活動を進めようとしている。	課題解決に向けて、多様な意見を出し合いながら議論を行い、合意形成を図りながら協力して活動を進めようとしている。	自分の意見を出そうとしていない。また、相手が納得するかを気にしていない。さらに、協力して活動を進めようとしていない。
シ 将来を設計する力		活動を振り返る中で、自分や友達、地域のよさに気付くとともに、夢や希望をもち、地域のよさを広めたり、自他のよさをさらに伸ばして自分の将来を切り拓こうとしたりしている。	活動を振り返る中で、自分や友達、地域のよさに気付くとともに、地域のよさを広めたり自他のよさをさらに伸ばしたりしている。	活動を振り返る中で、地域のよさに気付くとともに、そのよさを広めようとしている。	活動を振り返っても、地域のよさに気付いていない。

### 3 指導と評価の計画（全 60 時間）

時	学習活動	シンキング ツール	評価規準 (評価方法)
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「吉名町の海」をテーマに総合的な学習の時間の活動を進めることを知り、やってみたいことを話し合う。</li> </ul>	イメージマップ	(2)ウ (行動観察、ワークシートの分析)
2 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●吉名町の海のフィールドワークを行い、気づきを交流し、これからやってみたいことを話し合う。</li> </ul>  	イメージマップ	(2)ウ (2)エ (行動観察、ワークシートの分析)
5 ～ 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「吉名町の海」に関わる様々な情報を収集する。 (例) 生き物、カブトガニ、ゴミ 等</li> <li>・インターネットで調べる。 しかし、見通しが立たず停滞する。</li> <li>・吉名の海についての新聞記事を発見する。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞に載っていた方に連絡を取り、干潟で生物観察会を行う。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・カブトガニについて、地域の方へインタビューを行う。</li> </ul>  <p>漁業協同組合の方に聞き取り      カキ養殖を営む方へ電話</p>		(1)ア (2)オ (2)カ (3)コ (行動観察)

**計画を変更!**

18 ・ 19	<ul style="list-style-type: none"> <li>●これまでの学習を振り返り、吉名学園の児童生徒や保護者の方に伝えたいこととその方法を話し合う。</li> </ul>	ベン図	(2)ウ (2)カ (行動観察、 振り返りの分析)
20 ・ 29	<ul style="list-style-type: none"> <li>●吉名の干潟を題材にした劇を作る。</li> <li>・劇の中に入れたい内容と言葉を話し合う。</li> <li>・劇の練習をする。</li> </ul>		(2)キ (2)ク (2)ケ (3)サ (行動観察)
課外	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学園祭で、吉名学園の児童生徒や保護者に向けて、自分たちが伝えたいことが伝わるように劇を演じる。</li> </ul> 		
30	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学園祭での発表を振り返るとともに、今後、誰に、このことを伝えたいか、どのようにして伝えるかを話し合う。</li> </ul>  <p>次は、子ども園の子たちに伝えたい</p>	PMI	<div style="text-align: center; background-color: red; color: white; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;">計画を変更!</div> (2)ウ (行動観察)
31 ・ 38	<ul style="list-style-type: none"> <li>●吉名こども園の子たちに向けて紙芝居を制作する。</li> <li>・吉名こども園の子たちに干潟やそこに生息する生き物の大きさが伝わるよう紙芝居を制作する。</li> </ul>  <p>・自分たちでプロットや絵を作成。</p>		(2)キ (2)ク (3)サ (行動観察)
39 ・ 42	<ul style="list-style-type: none"> <li>●吉名こども園の先生からアドバイスをもらい、それを基に改善する。</li> <li>・吉名こども園の先生に試作した紙芝居を見せ、アドバイスをいただく。</li> </ul>  <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">色が薄くて、絵が見えないなあ。</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;">言葉が難しくて分からないかもしれないね。</div> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">ちょっと早口で聞き取れないかな。</div> <p>・「本物」から学び ⇒ 新たな視点の獲得</p>		(2)ケ (行動観察、 振り返りの分析)

	<p>・いただいたアドバイスを基に紙芝居を改善する。</p> 		
43	<p>●吉名こども園の子たちに紙芝居を披露する。</p> 		(3) コ (行動観察)
44	<p>●吉名こども園の子たちに向けての発表を振り返るとともに、もっと多くの人たちに伝えるにはどうすればよいかを話し合う。</p>	PMI イメージマップ	(3) シ (行動観察、 振り返りの分析)
45 ～ 52	<p>●干潟やそこに生息する生き物の大切さを多くの人たちに伝えるためにニュース動画を制作する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュース動画の構成を考える。</li> <li>・動画を撮影したり、インタビューをしたりする。</li> <li>・動画を編集する。</li> </ul>		(1) イ (2) キ (2) ク (行動観察)
53 ～ 59	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試作した動画を市のケーブルテレビの方に見ていただき、よりよくするためのアドバイスをもらう。</li> <li>・アドバイスを基に改善する。</li> </ul>		(1) イ (2) ケ (行動観察、 振り返りの分析)
課 外	<p>●制作した動画を公開する。</p>		
60	<p>●本単元全体を振り返る。</p>		(1) ア (3) シ (振り返りの分析)